

お客さまに関わる責任

社会環境の変化への対応

基本的な方針

日本製紙グループは、総合バイオマス企業として、社会環境やお客さまのニーズの変化への確に対応するとともに、持続可能な社会の構築に寄与する製品・サービスを提供することで、企業の社会的価値と経済的価値の向上を図り、企業グループ理念の実現を目指します。

目標と実績

取り組むテーマ	目標	2025年度の主な実績
グリーン戦略 (バイオマス製品の拡大)	バイオマス製品の拡大 ・脱プラスチック・減プラスチック需要への対応 (紙化製品の拡大)	・パッケージ素材の紙化を推進するため、国内コンバータなどとの協業強化および海外でのマーケティング活動中 ・ストローレス学乳容器「School POP®」が24都道府県で採用

取り組み

持続可能な社会の構築に貢献する製品

- 当社グループは、再生可能な木質資源を多様な技術・ノウハウを最大活用して展開する製品・サービスの提供を通じて、持続可能な社会の構築やSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献していきます。
- グループ各社において、原材料の調達、製品の製造、使用、使用後、廃棄など、製品のライフサイクルの各段階で環境に配慮した製品の開発を進めています。

事例

ストローレス対応学校給食用紙パック 「School POP®」(日本製紙)

紙パックから直接飲めるよう、開けやすさや衛生面に工夫した設計とした上で、ストローを必要とする方にも配慮しストロー穴は残す構造としました。使い捨てストローの削減によるCO₂排出量削減を通じて気候変動問題の解決に貢献します。2026年4月時点で、24都道府県で採用されています。

「長持ちロール」シリーズ(日本製紙クレシア)

「スコッティ®フラワーパック3倍長持ち4ロール(シリーズ)」は、1ロールの長さが従来品※の3倍のため、取り替えの手間が少なく、収納スペースが削減できます。また、ロールのコア芯の削減や、配送時の積載率の向上によるCO₂削減等、環境負荷の低減にも貢献できます。

※ スコッティ®フラワーパック12ロール(シリーズ)

セレンピア®(日本製紙)

セルロースナノファイバー「セレンピア®」シリーズは、セルロースをナノレベルまで解繊する技術を活用したバイオマス素材です。植物繊維由来のため生産・廃棄に関する環境負荷が小さく、軽量・高強度・高酸素バリア性・熱安定性など多様な機能を持っています。食品や化粧品への採用が拡大しているほか、2023年には世界初※の事例となる、輸送機器の量産部品への採用も実現しました。

※ 当社調べ

トルラプラス®(日本製紙)

木材由来の糖分で培養した「トルラ酵母」から、核酸と酵母細胞壁の両成分を有効活用した家畜用サプリメントです。生命の源である核酸と、カビ毒吸着に寄与する細胞壁の働きにより、家畜本来の免疫力を保ち順調な発育を後押しします。木質資源の高度利用を通じて畜産の生産性と安全性を高め、持続可能な食料供給に貢献します。2025年度には増産設備を導入し、約100トンを販売しました。養豚・養牛農家等で採用が拡大中です。

元気森森®(日本製紙)

パルプ化技術を活用し、原料となる木材からリグニンを取り除き、消化性の良いセンイ(セルロース)を取り出して製造する、新しい養牛用飼料です。高エネルギー・消化が穏やかという特長があり、国内調達の木材を使用し、国内工場で製造することで、品質と供給の安定が可能です。木質資源を有効活用した製品で畜産の持続可能な発展に貢献します。



→WEB

持続可能な社会の構築に貢献する製品

<https://www.nipponpapergroup.com/csr/sdgs-product/>

社会環境の変化への対応

お客さまの課題への対応

当社グループでは、営業部門による日常の営業活動から、技術スタッフによる品質パトロールまで、幅広くお客さまの課題やニーズを把握し対応できるよう積極的にコミュニケーションを図っています。

主な取り組み

社名	方法	詳細
日本製紙グループ	ウェブサイトでのお問い合わせ受け付け	事業・製品・活動などについて日本語・英語2つの言語で受け付け
日本製紙グループ	工場見学・査察受け入れ	地域の学生や住民などの工場見学、認証機関などの工場監査の受け入れ
日本製紙	顧客への技術講習会の開催	乳業・飲料会社の充填機ご担当者を対象に、技術講習会(紙パックスクール)を開催
日本製紙クレシア	お客さま相談室の設置	お寄せいただくご意見・ご質問を、製品のさらなる開発・改善に活かせるように体制を整備

ESG情報共有プラットフォームへの参加

当社グループは、サプライチェーンにおける企業の環境的・社会的慣行に関する情報を共有し、その改善を目指している国際的なプラットフォームに参加しています。

EcoVadis

- 当社グループは、ビジネスサステナビリティ評価のグローバルリーダーであるEcoVadis社を通じて、ESG（環境・社会・ガバナンス）パフォーマンスの評価と報告を行い、その結果を継続的な改善につなげています。2025年はブロンズメダルを獲得しました。



EcoVadis 表彰ページ

<https://recognition.ecovadis.com/-UUWIHKITkW9VzLyYeYDLg>

Sedex

- 日本製紙リキッドパッケージプロダクトでは、サプライチェーン上のCSR評価プラットフォーム「Sedex」を活用し、サプライヤーとして江川・三木・石岡の3事業所で「SMETA監査」を実施しています。労働・人権、健康安全、環境、倫理の観点から定期的な確認を行い、リスクの早期発見と是正につなげています。
- 日本製紙パピリアはバイヤーとしてSAQを活用し、サプライチェーンに潜在するリスクを評価の上、リスク低減を推進しています。